

「がばいばあちゃん」横浜上陸
招待例会で「郷土愛」を対外発信

た新たな試みは、またまた招待会を開催。メンバーの友人、知人、地域の方々を例年に招待し、JICの本質、活動と理解頂くことが目的となる。メンバーだけでなく、一般の方々が出席できるようにしたい。普段知られていない通常の例会とついてもを外部に発信することができる絶好の機会といえる。横浜青年会議所の思いをメンバーひと

り、こりが個々に招待した人達に伝え、それができれば、また新たな事業への足がかりとして大きな一歩を踏み出すことは間違いない。今回講師にお招きするのは、もみじきんじゅのギャグで80年代を一世風靡した、B&Bの島田洋七氏である。現在は、自身の自伝、佐賀のがばいちゃん、佐賀の本が、10万部を超えるベストセラーとなり、映画や

ドラマ化されるなど大変多忙な上、講演会に依頼が全国から殺到しているとし、まさに飛ぶ鳥を落とす勢いだ。佐賀の美家に預けられた少年とそこに住む「はあちゃん」との生活が描かれた著書には、教育や家族愛、郷土に対する思いが盛込まれている。



佐賀のがばいばあちゃん(待間文庫)

佐賀のばいばあちゃん(東映ビデオ)

また、映画化の際には、佐賀Jと地元元島Jのメンバーが積極的に協力をしたことから島田氏もJに対して深く理解、共感を示して頂いている。今回横浜の5月例会に出演頂くのもこういった経緯が影響している。(光)



今日の顔

これからの横浜青年会議所を支える人材を育成したい」との胸の内を語る会員交流研修委員、長守屋健一君。守屋君は、2003年4月に横浜青年会議所に入会。瀬谷区在住の40歳・A型。ざっくりはまバレーの代表行方、この参画を終えた今、これから毎月入会される新人会員のメーパールの交流を積極的・図るとともに、9月に開催されるビジネス交流をテーマとした例会を開催に全力を注ぐ。

「新人会員のオリエンテーションと現役メ



2007年度会員交流研修委員会委員長守屋健一君

シリーズ 例会



2007年例会式
典委員会委員長岡
部祥司君。2004
年4月入会。港北区
在住の32歳。株式会
社竹中工務店勤務

組織の結束力を高めるために、横浜青年会議所の誕生以来、毎月開催して来ている例会、その長歴史の中で、家族例会、婦人例会、そしてサッカル例会、そしてサッカル以外の方々に参加していたりしている例会も数多く開催して来ましたが、手法は実にさまざまです。その多くは日頃の感謝の気持ちを込めて身近な方々にスポン

トを当てたものが多いです。もちろん本日の招待例会も公開している手法はありますが従来の形式に拘らず、さまざまな方法を試みながら、それは留めたの例会を見せるという手法です。我々が通常行っている例会を、普段何らかの形でメンバーと接点のある方々に参加いただくことに、横浜青年会議所が事業としての形

で外部発信する以外、側面、すなわち外伝統や格式とした歴史から培われた組織であるということを感じていただき、その素晴らしいさを伝えていきたいと考えたからです。本日集まっていたいた皆様にそうしたい主旨がある事、個々のメンバーがえていく事ができれば、更に大きな組織へ変貌していく考えます。(岡)

横濱えすに君③
タイ料理
ブーケット



今日は鶴見のタイ料理「ブーケット」を紹介します。タイで一番大きい島、リゾート地有名なブーケットが名前のこのお店、タイ料

理にありがちな恐
ろ入り難い雰囲気
ナックそのままの
がイカしてます。
特徴はブーケッ
と地元の料理など
のメニューライ
ン。コックがオー
シアのホテルに勤
していたとのこと。
東北料理を楽しむ
正解のようです。却
てやっています。和

語ること、語り継ぐこと
ヨハマナリー
移動例会大成功

移動例会大成功！

先月6日に開内
ホールで行われ
た4月映画上映
例会。移動例会
にも関わらず多
くのメンバーが
集まった。横浜
の歴史を知る「
テーマに映画」
「ヨメリ」が上
映されたが、横
濱のまち、ひと



対戦相手募集

横浜スタジアム

	1	2	3	4	5	6	7	計
コスモス	0	0	0	0	0	0	0	0
例会式典	0	0	1	0	0	0	×	1

横浜スタジアムグラウンド

4月26日(木) 例
会式典委員会メン
バーと株式会社コス
モケニアが、快
晴のもと横浜スタ
ジアムで野球の試合を
行った。結果は1
対0で例会式典チ
ームの勝利。気持ちの良
い汗と異業種間の交
流を存分に味わった
次回対戦相手をも
大募集。問合せ申込
みは、例会式典委員
会田中実行委員長
までお気軽にとっ
(光)



入会員を中心に
シアのメン
バーやその家
族も協力して
ダンスやフロ
ト、子供神輿

などの出し物で沿道の約28万人の観客を沸かせた。横浜青年会議所を市民に積極的にアピールできた」と守屋委員長も感動に声を震わせた。(光)

「郷土愛丸出港
はまっパレ大成功！」

昭和44年10月1日に南区から分庁した当時の人口約9万人が、高度経済成長と共に約22万人が生活を営む都市に発展し続けていた港南区。古くは農耕地だった街並みも宅地開発が進んでいます。区内には3つの鉄道が走り、バス路線も細かく網羅し、

路の整
いでい
う大
くス
や観光
クス

港南区

に恵ま
ます。

幹線道
備も准
るなど
変都心
へのア
くス

大岡や港南台には、大型の百貨店のショビが立ち並び、市内でも有数のショッピングエリアもなっています。また、文化活動も盛んに行われており、港南区民センターなど、まちわりの郷では活気のある声が溢れています。(市)

横濱市の西部に位置し、帷子川や
その支流の西流域になっていて、起
伏の多い地形が特徴です。人口は
25万人を超え、市内第5位の記録
を誇ります。横濱市が誕生した当
時は、まだ市域に含まれていない
都築郡岡村、二俣川村、西谷村でし
た。昭和44年、分
け谷、分
谷、朝日
に町を
くろ栄
として、旭区は誕生しました。自然
環境に恵まれていたことが大きな
特徴で、エリアを憩いの場となる
多くの公園や緑地が整ったとなっ
ています。また、古民家や名木、古
木が存在し、歴史を伝える地域の
シンボルとしても親しまれています
(市)

編集後記

熱くなつて来
ましたね。日
差しも強く
なつて紫外線
が気になり始
めました。周
りの女子高生
達を見てると
全然気にして
いない様子だ
け。大丈夫か
な。日焼け止
めでスキンケア
しないといけ
ないにまあ、
若いからいい
か。(金)
笑。

2007 年度の取り組み



まちづくり、ひとづくり
郷土愛をテーマに真の国際都市としてのまちづくりを創造していきます。



こども
子を持つ親の世代として子どもの教育に真剣に取り組めます。



横浜プロモーション事業
横浜開催のコンベンションやコンベンション誘致に積極的に参画します。



開港150周年関連事業
多くの市民との協働を目指し、行政や市民団体等と連携を図ります。



会員拡大面接

会員拡大への取り組み

青年会議所の中でも大変重要な事業のひとつ、会員拡大。愛する横浜のため、また多く仲間を一人でも増やしたいという思いが、横浜青年会議所のメンバーが活動の中心です。例年、会員相互の意見交換、会員の友好促進、会員としての義務と権利を深め、より一層の活動の基盤を固めていきます。(光)

JC活動の基盤



「JC活動の基盤」は、例年、会員相互の意見交換、会員の友好促進、会員としての義務と権利を深め、より一層の活動の基盤を固めていきます。(光)

過去の講演出演者例

中田宏(横浜市長)
塩川正十郎(元衆議院議員)
浜田幸一(元衆議院議員)
長嶋茂雄(プロ野球選手)
山口良治(伏見工業高校教師)
九重親方(元横綱千代の富士)
櫻井よしこ(経済評論家)
金美齡(前台湾総督府国策顧問)
古賀稔彦(柔道家)
藤巻幸夫(補助代表取締役)
井筒和幸(映画監督)
白石康次郎(海洋冒険家)

順不同



ホームページのお知らせ

横浜青年会議所のホームページがあります。理事長のメッセージや事業の案内、報告、入会の案内に至るまで、これを見たら横浜JCの全てが紹介されています。是非一度アクセスしてみてください。
<http://www.yokohama-jc.or.jp/>

横浜青年会議所設立趣意書

横浜JC56年の歴史

設立趣意書

祖國日本の再建は、我々青年の燃ゆるが如き情熱と挑まざる実行力に依つてのみ達成せられる。
新しき社會を及肩に擔ふ青年が同志相寄り相互の啓蒙と親睦を圖り社會への奉仕を通じ廣く全世界の青年と提携し將來に於ける指導力の演習に努めんとし此處に横浜青年會議所を設立せんとする。
既に東京、大阪、名古屋等全國十餘ヶ所には青年會議所が設立せられ目下設立準備中のもの十指を屈するに餘りあると聞く、日本の門戸、否な國際港都としての横浜の演ずる役割の重且つ大なる今日、國民待望の講和條約締結を控へ横浜青年會議所の設立に依り、世界經濟の一翼として、日本經濟の復興と世界平和の實現にいさゝかななりと貢獻せんと企圖するものである。

戦災敗戦の都市復興は青年の力に期待した。1951年1月横浜商工会議所の会頭平沼三郎の強い思いが、初代理事長の渡辺太郎の堅持を動かした。当時すでに存在した東京にある青年商工会議所(Junior Chamber of Commerce)を手本に、3月29日午後4時から行われた横浜商工会議所において26名の会員出席の下、神戸に先駆けて横浜青年會議所はその産声をあげた。その後、若くはと国内各地に青年會議所が設立する事になるが、國際都市横浜にふさわしく日本で最初に外国人をメンバーにするJCとなり、現在に至っている。(光)

JC100年

JC100年、それは、JCの理念が込められた救済です。青年會議所の最も基本的な理念が、心から成り立っています。1、神に対する信仰、神の永遠の計画に調和して生きることで調和ある生活が生まれる。2、人間の宇宙的兄弟愛を重視し、人間のおかれたい倫理上の区分ではなく、人間自身に基本的価値を求める。3、私企業における個人のインテリゲンチヤという基盤が、高度な生活水準、将来の発展への希望と定まらぬ4、人間による支配ではなく、人民の政治的支配を重視する。5、世界の貴重な遺産として、人間性、人間の心の中に求められ、6、人類への奉仕こそが人生最大の仕事である。(光)

JC運動の主体は常に「地域」です。

全国のメンバーが、自らが暮らすそれぞれの地域から、国を考え、世界を見つめています。

國際青年會議所

JCI

(Junior Chamber International)

日本青年會議所

NOM

(National Organization member)

地区協議会 (全国10地区)
ブロック協議会 (全国47ブロック)

各地青年會議所

LOM

(Local Organization Member)

米国ミズーリ州セントルイスの小さな青年社會活動から生まれ、全米、そして世界へと広がっていったJC運動の國際機關であり世界最大の青年団。日本は1951年に加盟。

全國的レベルの運営について LOM と協働し総合調整にあたる。國家青年會議所として政策提言を行い、國際的には國を代表する。ブロック、地区、NOM はすべて LOM からの出向者によって構成される。

都市ごと、あるいは市部・町村が集まった形で組織され、すべての会員は LOM に所属する。

